CTNV-101

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

管理番号:TEC-00-MA0199-01

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版　2014 年 02 月 14 日　　　新規作成

電波障害自主規制について

この装置は，クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　ＶＣＣＩ－Ａ

ご使用上の注意事項

- 本製品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

- 本製品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。

- 本製品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。

- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。
  また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。

- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要

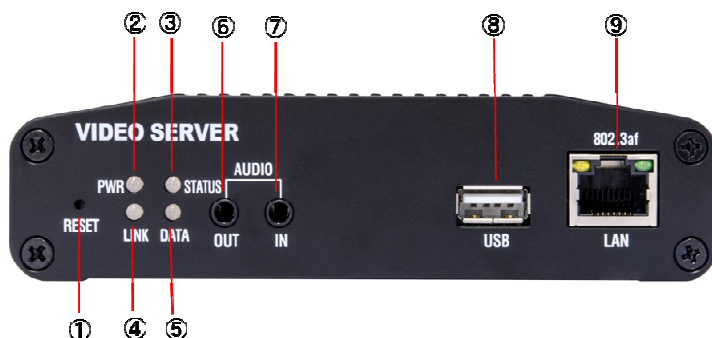
CTNV-101 は、H.264/MJPEG（MJPEG は、Dual Encode モード時のみ）の動画圧縮規格を採用し、NTSC 或いは PAL の映像データや G.711 μ 或いは AAC の音声データなどを IP ネットワーク経由で伝送できる機器です。

2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名　称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
3pin ターミナルブロック	2 個
4pin ターミナルブロック	2 個
固定金具	1 個
固定金具用ネジ	2 個

3. 製品外観

3.1. 前面

正常時の LED の状態

#	名称	状態	説明
①	REST	–	ネットワーク設定を初期状態にします。PWR と DATA だけが点灯するまで(約 7 秒間)押下してください。その後、自動で再起動し、約 1 分後にネットワーク設定だけが初期化された状態で起動します。
②	PWR	赤点灯	電源が入っています。
③	STATUS	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
④	LINK	緑点灯	対向側の機器と接続されています。
⑤	DATA	緑点灯	データが送信されています。

異常時の LED の状態

#	名称	状態	説明
②	PWR	消灯	電源が入っていません。
③	STATUS	赤点灯	システムに異常が発生しています。
		緑点滅 赤点滅	緑色および赤色の点滅を周期的に繰り返す場合、エンコーダに入力されるビデオのフォーマットがエンコーダの設定と異なっています。
		緑点滅 赤点滅	DDNSサーバの登録に失敗した場合、緑 2 回、赤 1 回の点滅を繰り返します。
		赤点滅	DHCP モードで IP address を取得できない場合、赤色の点滅となる。
		緑点滅 赤点滅	5 秒間に緑の点滅および赤の点滅を繰り返した場合、エンコーダの内部でビデオロスが発生しています。

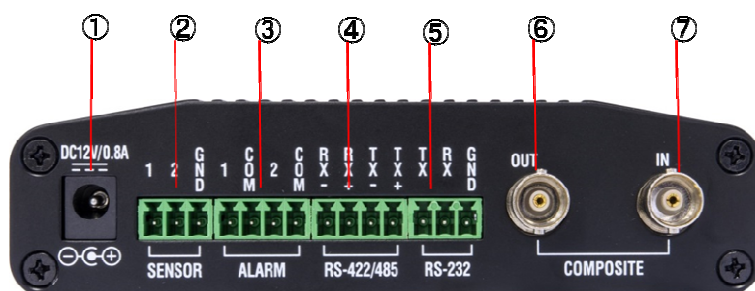
④	LINK	消灯	対向側の機器と接続されていません。
		赤点滅	エンコーダとの接続を試みています。 ※　デコーダモードの時のみ
		橙点灯	システムがサポートしない方法で機器を接続した場合、橙の点灯となります。
⑤	DATA	赤点灯	データロスがあります。
		消灯	データが送信されていません。

AUDIO

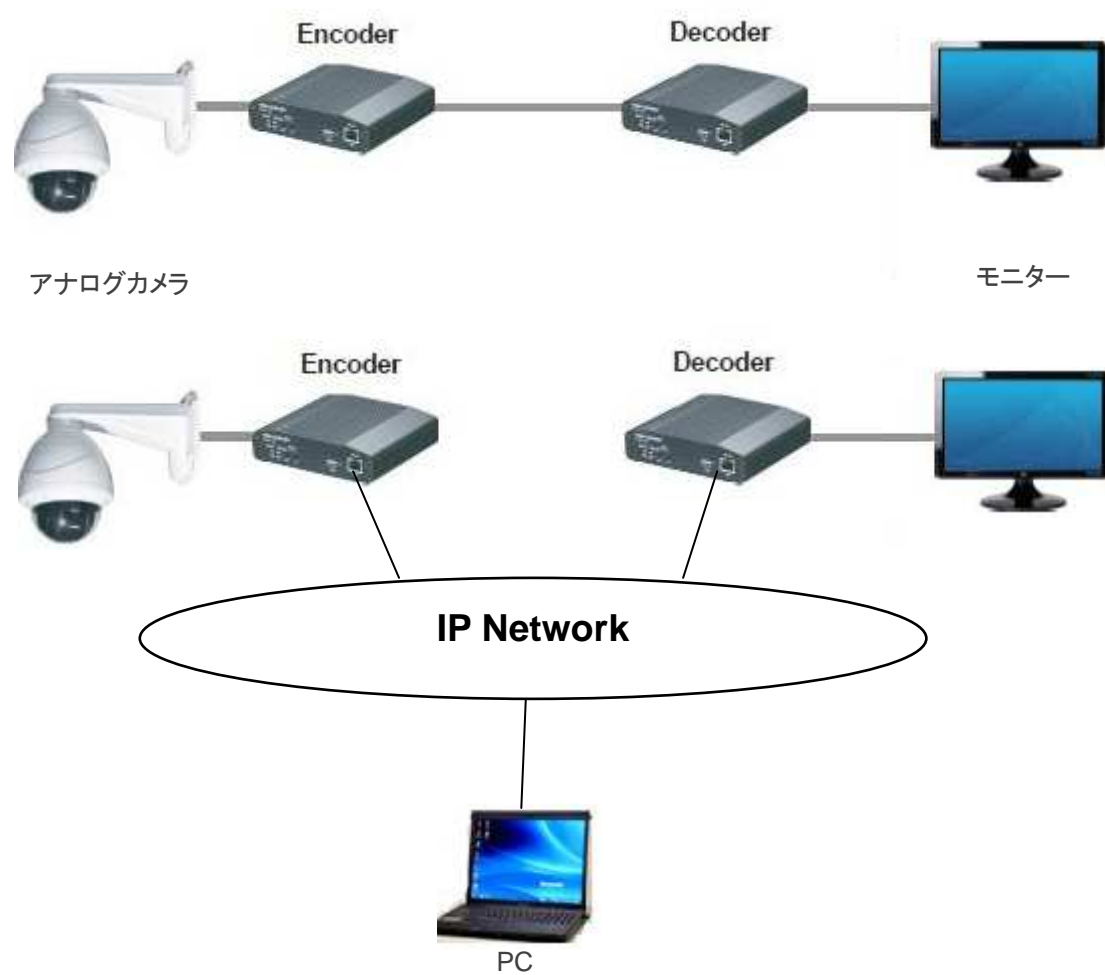
#	表示	説明
⑥	OUT	増幅機能を有するスピーカなどを接続します。
⑦	IN	増幅機能を有する音源を接続します。

ポート

#	表示	説明
⑧	USB	USB メモリを接続します。
⑨	LAN	本機をネットワークに接続します。

3.2.　背面

#	表示		説明
①	DC12V0.8A		電源アダプタを接続し DC12V の電源を供給します。
②	SENSOR		外付けのセンサーを接続します。
③	ALARM		外付けのアラーム機器を接続します。
④	RS-422/RS-485		カメラのコントロール(PTZ)を行います。
⑤	RS-232C		カメラのコントロール(PTZ)を行います。
⑥	VIDEO	OUT	デコーダモードでアナログ(コンポジット)信号を出力します。
⑦		IN	エンコーダモードでアナログ(コンポジット)信号を入力します。

4. インストレーション

以下に接続例を示します。

5. 設定画面へのログイン

WEB ブラウザを使用して、CTNV-101 の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

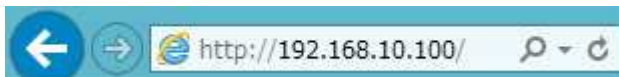
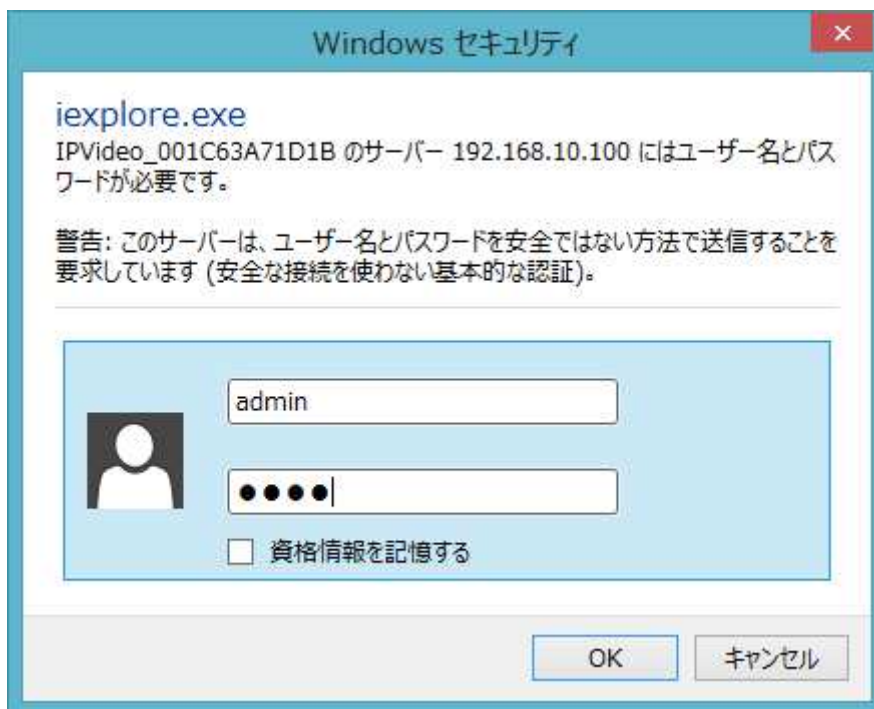
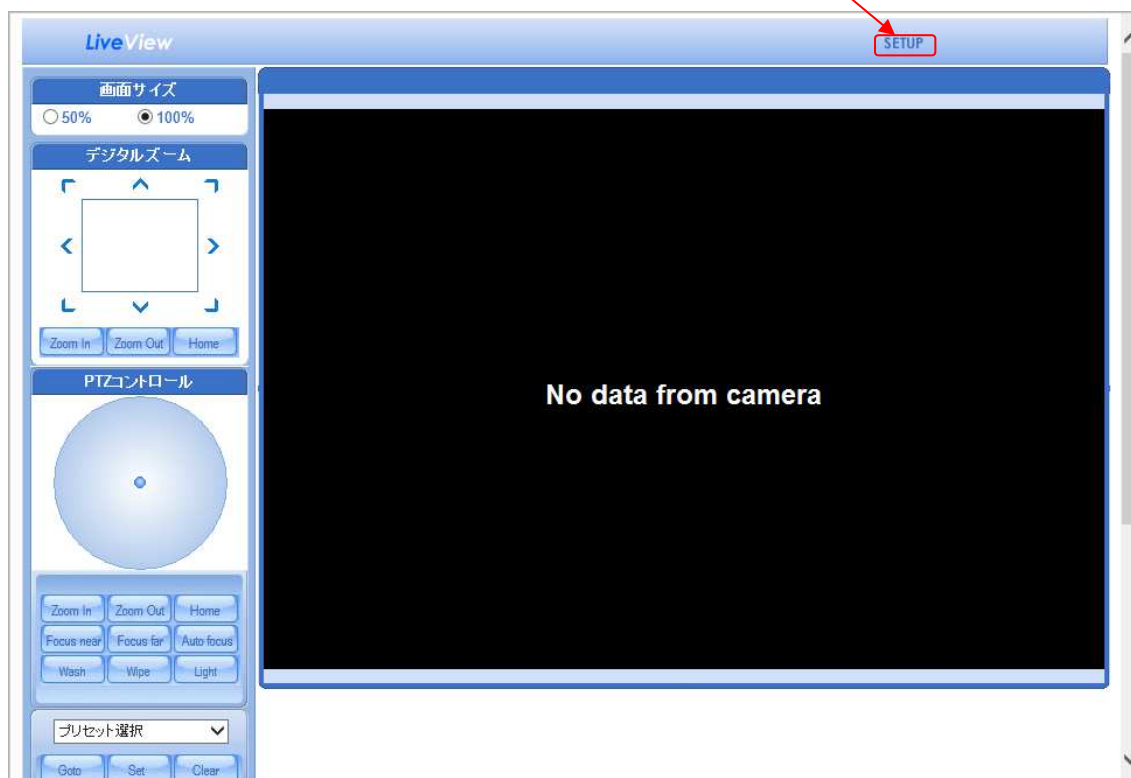
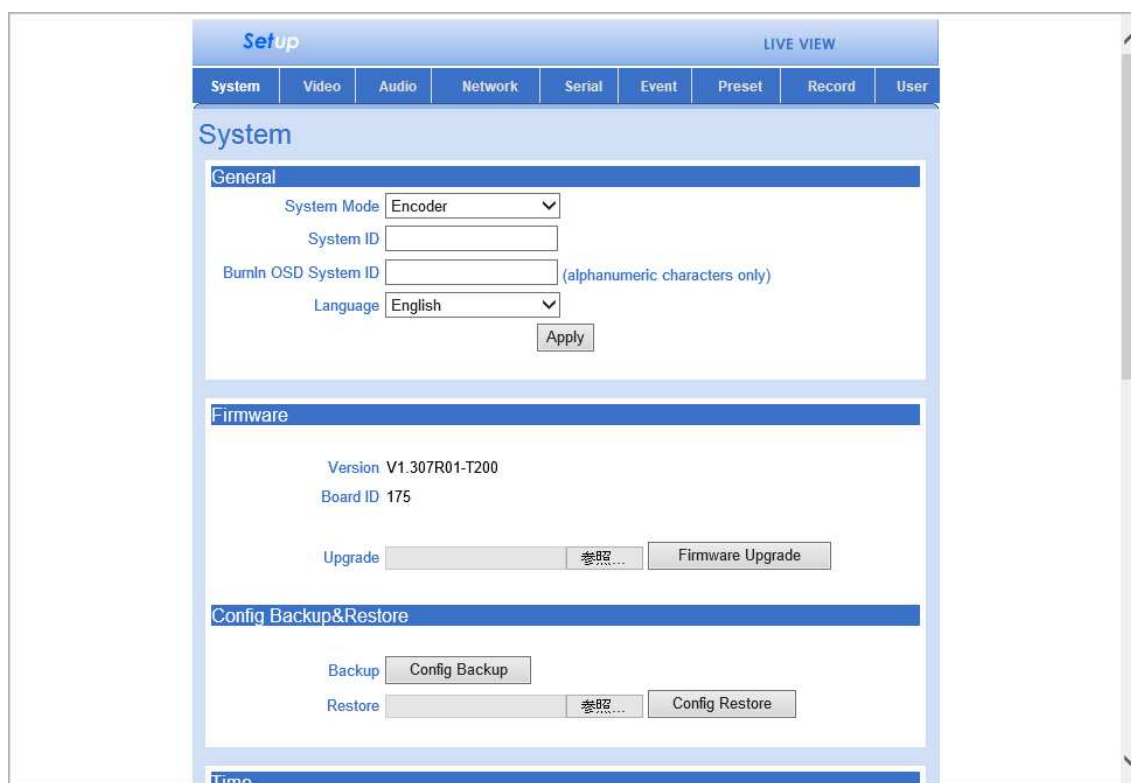
  Windows XP : IE　バージョン 8、 Windows 7 :IE　バージョン 9

  注）Windows 7 で Snapshot や File Record 機能を利用する場合、ユーザアカウント設定の変更が必要となる場合があります。

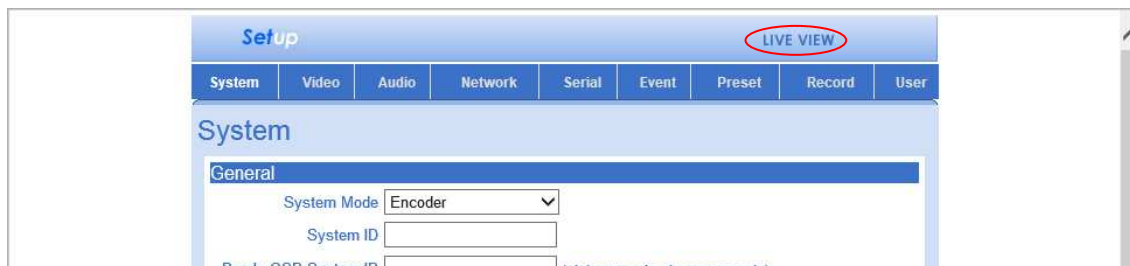
- ログイン初期設定

IP　アドレス　：192.168.10.100/24
ユーザ名　：admin
パスワード　：1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに"192.168.10.100"を入力して接続します。

2. ユーザ名とパスワードを入力して、"OK"をクリックします。

3. ログインに成功すると、下図の画面が表示されますので、右上の"**SETUP**"をクリックします。

4. 下図の設定画面(Setup メニュー)が表示されます。

6. メニューの切り替え方法

6.1. SETUP メニューから LIVE VIEW メニューへの切り替え

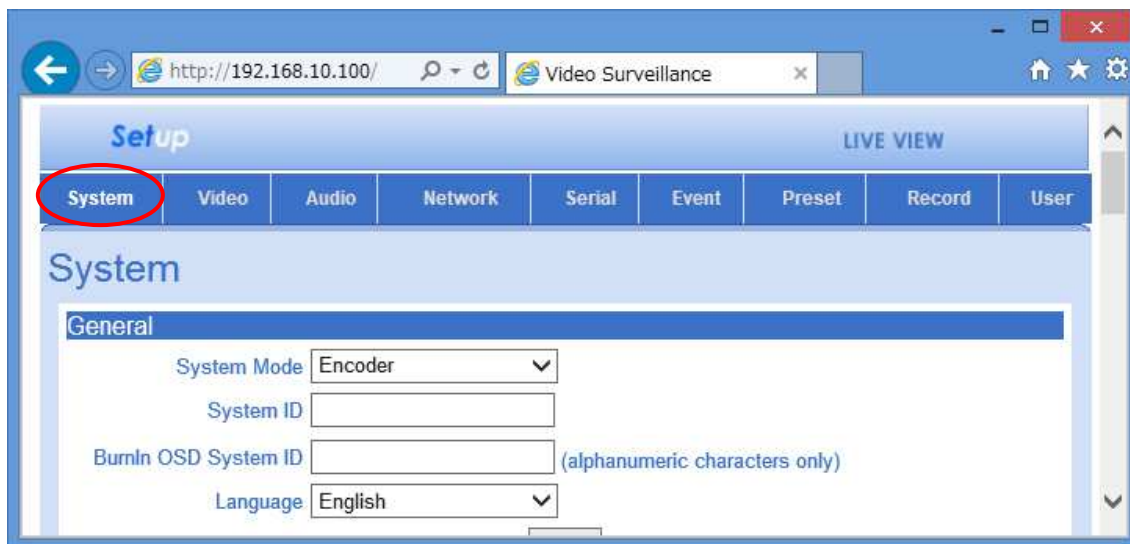
画面右上の”LIVE VIEW”をクリックします。

6.2. LIVE VIEW メニューから SETUP メニューへの切り替え

画面右上の”SETUP”をクリックします。

7. Setup メニュー

7.1. System

システム全般の設定、機器の初期化や再起動等を行います。

SETUP メニュー画面から"System"タブをクリックします。

➢ **System メニュー**

表示	説明
General	システムモードの切り替え(エンコーダ/デコーダ)、システム ID、表示言語の切り替え等を行います。
Firmware	ファームウェアの管理を行います。
Config Backup&Restore	設定ファイルのバックアップ/リストアを行います。
Time	時間の設定を行います。
Reboot	本機の再起動を行います。
Factory Reset	設定の初期化を行います。

7.1.1.　General

表示	説明
System Mode	エンコーダモードまたはデコーダモードの選択を行います。
System ID	ビデオ　サーバーに名称を付与します。
BurnIn OSD System ID	設定した文字をモニター上に表示します。 ※　表示可能な文字はアルファベットおよび数字です。
Language	言語の選択ができ日本語にも対応しています。
Apply	設定を適用します。

7.1.2.　Firmware

Firmware

Version V1.307R01-T200

Board ID 175

表示	説明
Version	本機のファームウェアのバージョンを示します。
Board ID	ネットワークボードIDを示します。
Upgrade	Firmware の更新を行います。

7.1.3.　Config Backup&Restore

Config Backup&Restore

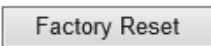
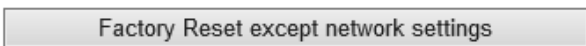
Backup　Config Backup

Restore　参照...　Config Restore

表示	説明
Backup	本機の設定情報を保存します。
Restore	保存した設定情報を再インストールします。

7.1.4.　Time

表示	説明
Start Time	システムが起動した時刻を示します。
Current Time	現在の日時を設定します。
Time Format	時刻表示の形式を変更します。
Time Zone	タイムゾーンを変更します。
Automatically synchronize with NTP server	NTP サーバとの同期を有効にします。
NTP Server Name	NTP サーバ名を設定します。
Apply	設定を適用します。

7.1.5.　Reboot

Reboot

Reboot

表示	説明
Reboot	本機の再起動を行います。

7.1.6.　Factory　Reset

Factory Reset

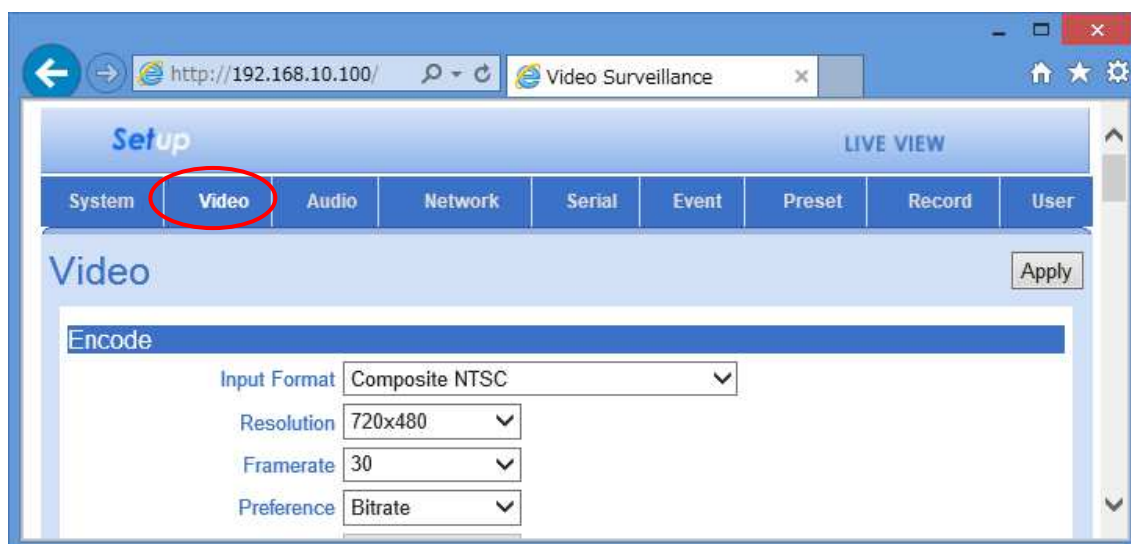
Factory Reset

Factory Reset except network settings

表示	説明
Factory Reset	システムを工場出荷時の状態に戻します。
Factory Reset except network settings	ネットワーク設定を除いてシステムを工場出荷時の状態に戻します。

7.2. Video [エンコーダモードの場合]

ビデオの設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Video"タブをクリックします。

➢ **Video メニュー[エンコーダモード]**

表示	説明
Encode	エンコード・モードの設定を行います。
Dual Encode	Dual Encode の設定を行います。エンコード・モードは、H.264/H.264 或いは H.264/MJPEG となります。
Motion Detection	動体検知機能の設定を行います。
Information Display	System で設定した SystemID および時刻を Internet Explorer の LiveView モニター画面に表示さる設定を行います。
BurnIn OSD	System で設定した情報をモニターに表示します。
Color	色の属性である色相(色合い)、明度(明るさ)、彩度(鮮やかさ)を変更します。
Video Enhancement	映像品質の改善を行います。
Output Format	エンコーダの映像出力のフォーマットを設定します。
Apply	設定を適用します。

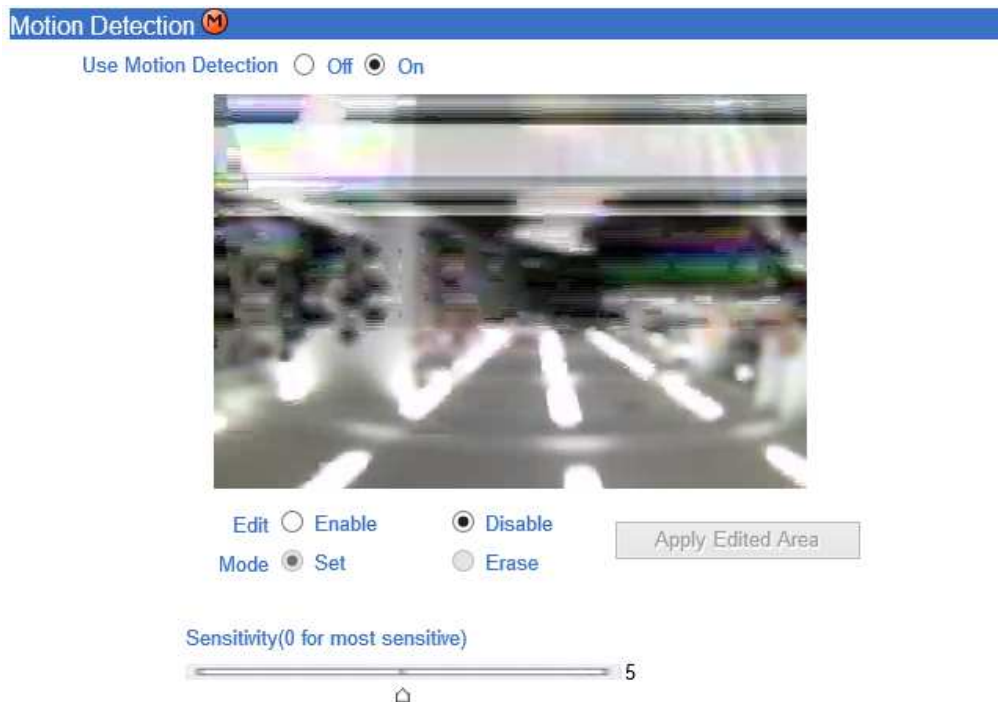
7.2.1.　Encode

表示	説明
Input Format	映像の入力モードを NTSC または PAL に設定します。
Resolution	解像度を設定します。
Framerate	フレームレートを設定します。
Preference	映像の品質に関わる優先度を設定します。（ビットレートあるいは品質）
Quality	Preference で品質(Quality)を選択した場合に設定します。
Bitrate	Preference でビットレート(Bitrate)を選択した場合に設定します。
I-Frame Interval	I frame　間に設定する P frame の数を設定します。
H.264 Profile	H.264 Profile を設定します。

7.2.2.　Dual Encode

Dual Encode モードでエンコードされた映像の確認は、エンコーダにアクセスしている PC 上で Video Select において Primary (H264)或いは Secondry (H.264 or MJPEG)を選択することにより行います。Dual　Encode 機能でエンコードされた映像をデコーダ側で再生することはできません。

表示	説明
Use Dual Encode	デュアル・エンコード・モードを使用するかを設定します。
Dual Encode Algorithm	デュアル・エンコード・モードのエンコード方法を設定します。
Resolution	解像度を設定します。
Framerate	フレームレートを設定します。
Preference	映像の品質に関わる優先度を設定します。（ビットレートあるいは品質）
Quality	Preference で品質を選択した場合に設定します。
Bitrate	Preference でビットレートを選択した場合に設定します。
I-Frame Interval	I frame　間に送信する P frame の数を設定します。
H.264 Profile	H.264 Profile を設定します。

7.2.3.　Motion Detection

表示	説明
Use Motion Detection	動体検知機能を使用するかを設定します。
Edit	動体検知機能を利用する範囲を設定するか否かを設定します。
Mode	動体検知する範囲を設定します。
Sensitivity(0 for most sensitive)	動体検知機能の感度を設定します。

7.2.4.　Information Display

Information Display

SystemID ◉ Off ○ On

Time ◉ Off ○ On

Position ◉ Bottom ○ Top

表示	説明
System ID	System で設定した System ID を Live View モニター画面に表示する設定を行います。
Time	System で設定した現在の時刻を Live View モニター画面に表示する設定を行います。
Position	情報の表示位置を設定します。

7.2.5.　BurnIn OSD

BurnIn OSD

SystemID ◉ Off ○ On

Time ◉ Off ○ On

Position ◉ Bottom ○ Top

Font Size ◉ Small (8x8) ○ Middle (16x16) ○ Large (32x32)

表示	説明
System ID	System で設定した Burnin OSD System ID の値をモニターおよび Live View モニター画面に表示する設定を行います。
Time	System で設定した時刻をモニターおよび Live View モニター画面に表示する設定を行います。
Position	モニターおよび Live View モニター画面に表示する情報の位置を設定します。
Font Size	モニターおよび Live View モニター画面に表示する情報のフォントのサイズを設定します。

7.2.6.　Color

Color

表示	説明
Brightness	映像の明るさを変更します。
Contrast	映像のコントラストを変更します。
Hue	映像の色調(色合い)を変更します。
Saturation	映像の彩度を変更します。

7.2.7. Video Enhancement

Video Enhancement

3D Combo Filter Off

3D Noise Reduction Off

3D De-interlace Mode Field Merge

WDR Mode Off

De-Mist Mode Off

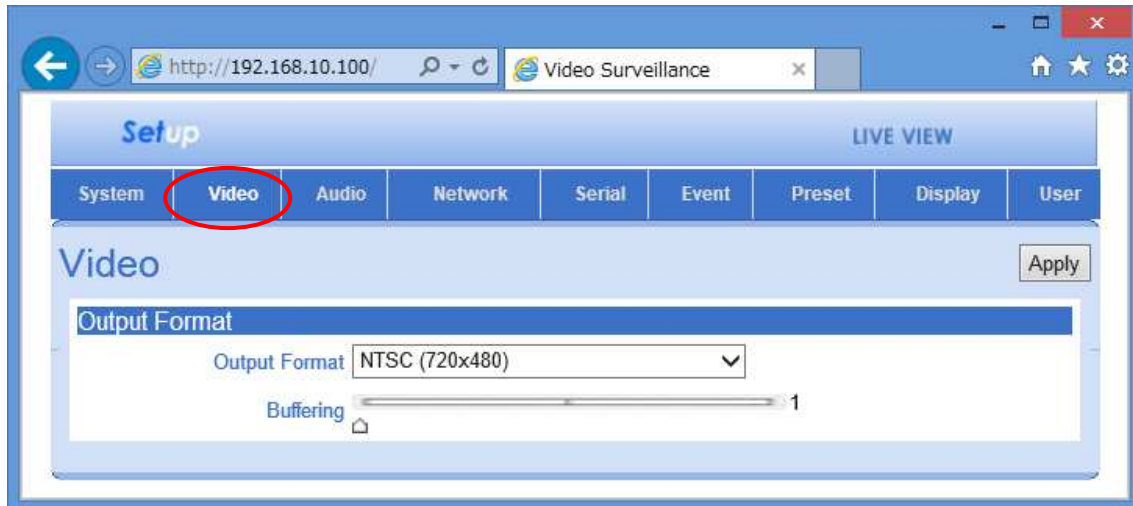
表示	説明
3D Combo Filter	3D Combo Filter は、ドットクロールを低減させるための機能であり、その機能を利用するかどうかを設定します。ドットクロールは、NTSC コンポジットビデオの特性で、色が付いた部分の縁に現れるドットの模様です。
3D Noise Reduction	3D Noise Reduction の強度の設定を行います。3D Noise Reduction とは、アナログ映像信号に混在するノイズをデジタル処理によって除去する機能です。
3D De-interlace Mode	3D De-interlace Mode を設定します。De-interlace Mode とは、インターレス映像をノンインターレス映像に変換する機能です。
WDR Mode	ワイドダイナミックレンジ機能の設定を行います。ワイドダイナミックレンジ機能とは、映像の明暗部を自動的に調整する機能です。
De-Mist Mode	De-Mist Mode を設定します。De-Mist Mode とは、霧や雨などで不鮮明になった映像から霧や雨の影響を除去する機能です。

7.2.8. Output Format

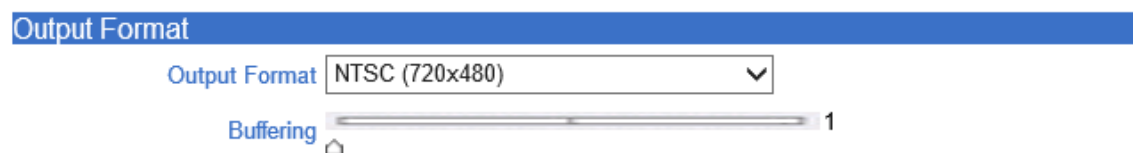
表示	説明
Output Format	エンコーダの映像出力フォーマットを設定します。

7.3. Video ［デコーダモードの場合］

ビデオの設定を行います。

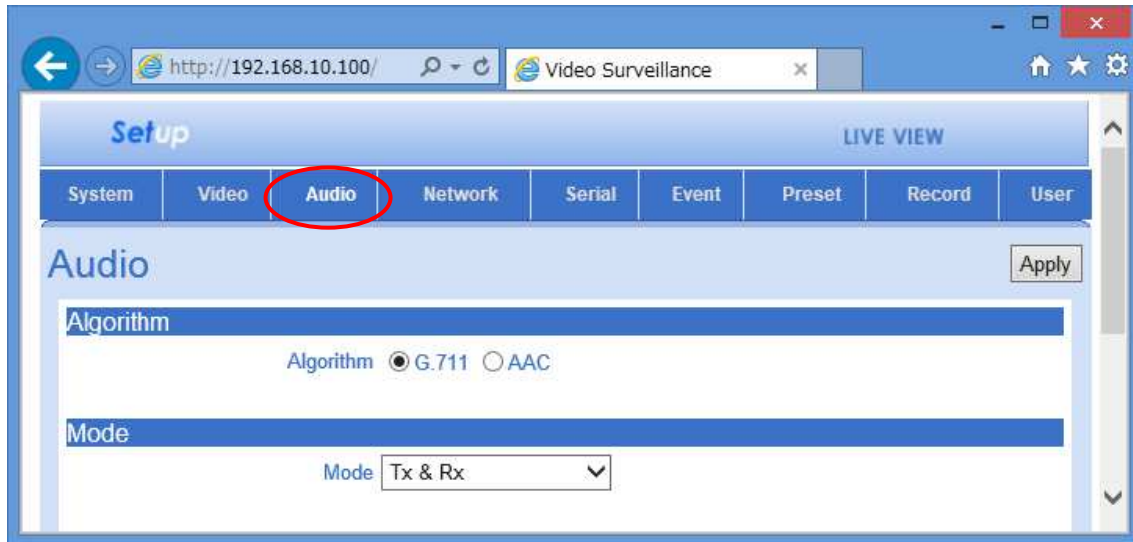
SETUP メニュー画面から"Video"タブをクリックします。

➢ **Video メニュー[デコーダモード]**

表示	説明
Output Format	映像の出力モードを NTSC または PAL に設定します。
Apply	設定を適用します。

7.3.1. Output Format

表示	説明
Output Format	映像の出力モードを NTSC または PAL に設定します。
Buffering	バッファするフレーム数を設定します。(1～60)

7.4. Audio

オーディオの設定を行います。

SETUP メニュー画面から”Audio”タブをクリックします。

➢ **Audio メニュー**

表示	説明
Algorithm	入力信号の圧縮方法を設定します。
Mode	信号の送信側になるか或いは受信側になるかを設定します。
Input Gain	入力信号の利得を調整します。
Audio Output	出力信号の出力方法を設定します。
Apply	設定を適用します。

7.4.1.　Algorithm

Algorithm

Algorithm ◉G.711 ○AAC

表示	説明
Algorithm	入力信号の圧縮方法(G.711 または AAC)を設定します。

7.4.2.　Mode

表示	説明
Mode	この設定は、送受信モードの設定であり、Off, Tx-only, Rx-only, Tx & Rx のいずれかを設定します。

7.4.3.　Input Gain

表示	説明
Input Gain	利得を設定します。設定可能な範囲は 0～30 です。

7.4.4.　Audio Output

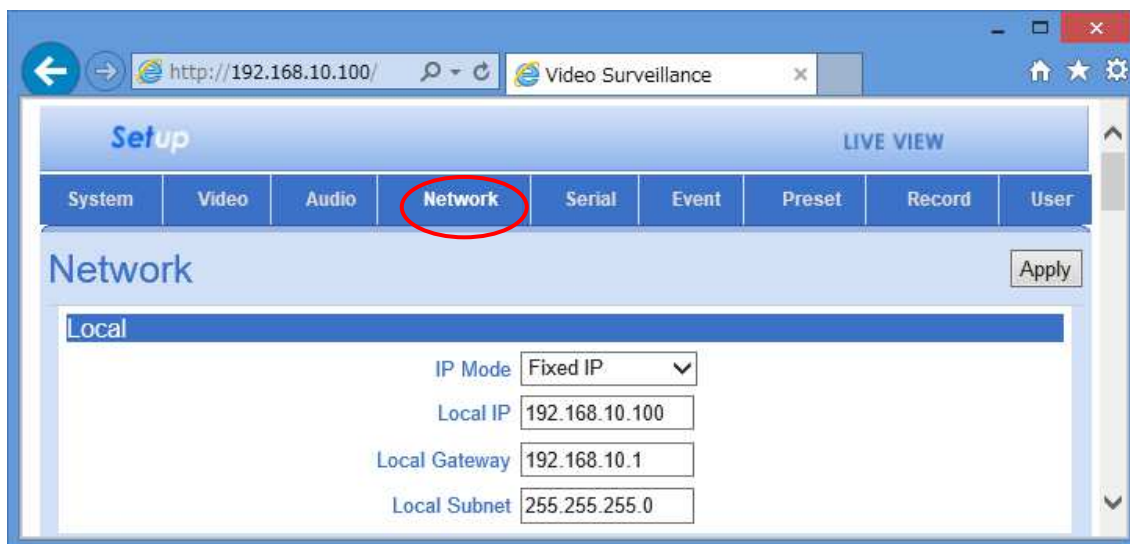
Audio Output

Audio Output ◉Decoded Audio ○Loopback

表示	説明
Audio Output	Decoded Audio は、デコーダの AUDIO OUT 側に信号を出力する場合に設定します。 Loopback は、同じ機器内で AUDIO IN から信号を入力し AUDIO OUT 側に信号を出力する場合に設定します。

7.5. Network

ネットワーク関連の設定を行います。

SETUP メニュー画面から”Network”タブをクリックします。

➢ **Network メニュー**

表示	説明
Local	Local 側のネットワーク設定を行います。
DNS	ドメインネームサーバの IP address を設定します。
IPv6	IPv6 のネットワークを利用するための設定を行います。
Port	Video sever 同士或いは、ブラウザなどを Video server に接続するための Port 番号を設定します。
Discovery	サードパーティの CSM(Central Monitoring System)を使用しカメラを探索するために UPNP, Zeroconf および WS Discovery を利用するかどうかの設定を行います。
Authentication	認証機能を設定します。
One-way Streaming	片方向送信設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
Multicast	マルチキャストの設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
Bitrate Control	ビットレートの制御を行います。
Address Information	Video server に設定された IP address などの情報を表示します。
Apply	設定を適用します。

7.5.1.　Local

Local

IP Mode　Fixed IP

Local IP　192.168.10.100

Local Gateway　192.168.10.1

Local Subnet　255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	固定 IP を設定するか DHCP を使用するか選択します。
Local IP	固定 IP を使用する場合の IP address を設定します。
Local Gateway	デフォルトゲートウェイの IP address を設定します。
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。

7.5.2.　DNS

DNS

Obtain DNS server address automatically

Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server　0.0.0.0

Secondary DNS Server　0.0.0.0

表示	説明
Obtain DNS server address automatically	Local 設定で DHCP を設定した場合に選択することができます。この場合、ドメインネームサーバの IP address を自動取得します。
Use the following DNS server addresses	任意のドメインネームサーバを利用する場合にサーバの IP address を設定します。

7.5.3.　IPv6

IPv6

IPv6 Address

IPv6 Subnet Prefix Length 0

IPv6 Default Gateway

IPv6 LinkLocal fe80::21c:63ff:fea7:1d1b/64

表示	説明
IPv6 Address	IPv6 address を設定します。
IPv6 Subnet Prefix Length	IPv6 のサブネットプレフィックス長を設定します。
IPv6 Default Gateway	IPv6 のデフォルトゲートウェイを設定します。
IPv6 Link Local	IPv6 のリンクローカルアドレスを設定します。

7.5.4.　Port

Port

Base Port 2222 (1025~65535)

HTTP Port 80 (80, 1025~65535)

HTTPS Port 443 (443, 1025~65535)

RTSP Port 554 (554, 1025~65535)

表示	説明
Base Port	本機同士が通信するための Port 番号を設定します。
HTTP Port	ブラウザの HTTP を使用し、設定或いは映像を確認するために利用する Port 番号を設定します。
HTTPS　Port	ブラウザの　HTTPS　を使用し、設定或いは映像を確認するために利用する Port　番号を設定します。
RTSP Port	RTSP を利用し、本機に接続するための Port 番号を設定します。

7.5.5. Discovery

Discovery

UPNP ○ Off ◉ On

Zeroconf ○ Off ◉ On

WS Discovery ○ Off ◉ On

表示	説明
UPNP	サードパーティの CMS(Central Monitoring System)で UPNP を利用するかどうかの設定を行います。
Zeroconf	サードパーティの CMS(Central Monitoring System)で Zeroconf を利用するかどうかの設定を行います。
WS Discovery	サードパーティの CMS(Central Monitoring System)で WS Discovery を利用するかどうかの設定を行います。

7.5.6. Authentication

Authentication

RTSP Authentication ◉ Off ○ On

HTTPAPI Authentication ◉ Off ○ On

表示	説明
RTSP Authentication	RTSP を利用して本機へ接続する際にユーザ認証を有効にするかどうかを設定します。
HTTP API Authentication	HTTP API を利用する場合に認証機能を有効にするかどうかを設定します。

7.5.7. One-way Streaming [エンコーダモードの場合のみ]

One-way Streaming

Mode [Off]

表示	説明
Mode	片方向送信を利用するかを設定します。本機能を利用する場合、RTP 或いは MPEG-TS を使うかの設定を行います。

7.5.8.　SNMP

SNMP

SNMP Listen port 161 (0, 161, 1025~65535)

SNMP Trap Destination IP 0.0.0.0

SNMP Trap Destination Port 162 (0, 162, 1025~65535)

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポート番号を設定します。
SNMP Trap Destination IP	SNMP トラップの送信先 IP address を設定します。
SNMP Trap Destination Port	SNMP トラップを送信するポート番号を設定します。

7.5.9.　Multicast

Multicast

Multicast IP 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)

表示	説明
Multicast IP	マルチキャストアドレスを設定します。

7.5.10. DDNS

表示	説明
DDNS Server	DDNS を利用する場合の設定を行います。

7.5.11. Remote [デコーダモードの場合のみ]

Remote

Remote Type	Normal
Media Protocol	TCP
Address	
Port	2222
Remote Channel	Channel 1
ID	
Password	
Use Streaming Server	◉ Off ○ On
SS IP Address	0.0.0.0
SS Port	2222
SS ID	
SS Password	

表示	説明
Remote Type	データ転送プロトコルを選択します。選択可能なプロトコルは次のとおり。 Normal, RTSP, RTP, MPEG-TS
Media Protocol	データの転送モードを設定します。
Address	エンコーダの IP address を設定します。
Port	デコーダとエンコーダの間で使用する port 番号を設定します。
Remote Channel	エンコーダが multiple video channels に対応している場合に設定します。
ID	エンコーダに接続するための ID を設定します。
Password	エンコーダに接続するための Password を設定します。
Use Streaming Server	デコーダをストリーミング・サーバに接続する場合に設定します。
SS IP Address	ストリーミング・サーバの IP address を設定します。
SS Port	デコーダとストリーミング・サーバの間で使用する Port 番号を設定します。
SS ID	ストリーミング・サーバの ID を設定します。
SS Password	ストリーミング・サーバの Password を設定します。

7.5.12. Bitrate Control [エンコーダモードの場合のみ]

Bitrate Control

Flow Control Mode　Frame Drop Mode

表示	説明
Flow Control Mode	フローコントロールの設定を行います。

7.5.13. Address Information

Address Information

Current IP　192.168.10.100

Current Domain　Not RegisteredB

MAC Address　00:1C:63:A7:1D:1B

Connecting

表示	説明
Current IP	本機に設定された IP address を表示します。
Current Domain	DDNS を利用した場合、そのドメインが表示されます。
MAC Address	本機の MAC address が表示されます。
Connecting	本機の接続先が表示されます。

7.6. Serial

カメラの制御用ポートの設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Serial"タブをクリックします。

➢ **Serial メニュー**

表示	説明
COM1 (RS232 Port)	カメラの制御用ポートの設定を行います。
COM2 (RS422/485 Port)	カメラの制御用ポートの設定を行います。
PTZ	カメラの制御方法を設定します。
Sensor Type	センサータイプを設定します。
Sensor Schedule	センサーのスケジュールを設定します。
Apply	設定を適用します。

7.6.1.　COM1 (RS-232 Port)

COM1 (RS-232 Port)

Protocol RS-232
Bitrate 9600bps
Data Bit 8Bits
Parity None
Stop Bit 1Bits

表示	説明
Protocol	カメラ制御用のシリアルインタフェースを設定します。COM1 は RS-232 がデフォルトであり変更できません。
Bitrate	データ通信の速度を設定します。
Data Bit	データのビット数を設定します。
Parity	データ誤り検出のパリティビットを設定します。
Stop Bit	データ通信のストップビットを設定します。

7.6.2.　COM2 (RS-422/485 Port)

表示	説明
Protocol	カメラ制御用のシリアルインタフェースを設定します。
Bitrate	データ通信の速度を設定します。
Data Bit	データのビット数を設定します。
Parity	データ誤り検出のパリティビットを設定します。
Stop Bit	データ通信のストップビットを設定します。

7.6.3.　PTZ

PTZ

PTZ Type: Pelco-D
PTZ ID: 1
PTZ Port: COM2

表示	説明
PTZ Type	カメラ制御のプロトコルを設定します。
PTZ ID	カメラ制御IDを設定します。
PTZ Port	カメラ制御用のシリアルポートを設定します。

7.6.4.　Sensor Type

Sensor Type

Sensor 1 ○Off ◉N/O ○N/C
Sensor 2 ○Off ◉N/O ○N/C

表示	説明
Sensor 1	センサーポートを利用するかどうかを設定します。 ・N/O はポートが通常 open になっていることを示します。 ・N/C はポートが通常 close になっていることを示します。
Sensor 2	センサーポートを利用するかどうかを設定します。 ・N/O はポートが通常 open になっていることを示します。 ・N/C はポートが通常 close になっていることを示します。

7.6.5.　Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select ◉ Sensor Off ○ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	センサーを Off にするか On にするかを設定します。
Sensor 1	センサー1 のスケジュールを設定します。
Sensor 2	センサー2 のスケジュールを設定します。

7.7. Event [エンコーダモードの場合]

センサーなどで異常を検知した場合の通知方法の設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Event"タブをクリックします。

➢ **Event メニュー**

表示	説明
Local	エンコーダ側で発生したイベントに対する通知方法を設定します。
Remote	デコーダ側で発生したイベントに対する通知方法を設定します。
Duration	アラーム通知の時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
E-mail Notification	発生したイベントについて E-mail を送信する設定行います。
FTP Upload	発生したイベントについてデータを FTP server に upload する設定を行います。
Apply	設定を適用します。

7.7.1.　Local

Local

Sensor1	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
Sensor2	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
On Video Loss	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
On Motion	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset

表示	説明
Sensor 1	センサー1 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 2	センサー2 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
On Video Loss	Video Loss が発生した場合の通知方法を設定します。
On Motion	モーションディテクション機能で異常を検知した場合の通知方法を設定します。

7.7.2.　Remote

Remote

Sensor1	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
Sensor2	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
Sensor3	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset
Sensor4	☐ Beep	☐ Alarm1	☐ Alarm2	☐ E-mail	☐ FTP	☐	No Preset

表示	説明
Sensor 1	センサー1 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 2	センサー2 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 3	センサー3 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 4	センサー4 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。

7.7.3.　Duration

Duration

Beep synchronous

Alarm1 1sec

Alarm2 1sec

表示	説明
Beep	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
Alarm 1	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
Alarm 2	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。

7.7.4. E-mail Notification

E-mail Notification

Server Address

Port 25 (25, 465, 587, 1025~65535)

Sender Address

Authentication on SMTP server ◉ Off ○ On

ID

Password

SSL ◉ Disable ○ Enable

Destination Address

Video Clip Attaching ◉ Off ○ Primary Video ○ Secondary Video ○ JPEG Capture

Number of Frame 1 (1 ~ 10)

E-mail Test

Before testing e-mail, please apply your configuration first.

表示	説明
Server Address	SMTP server のアドレスを設定します。
Port	SMTP の Port 番号を設定します。
Sender Address	送信側の E-mail アドレスを設定します。
Authentication on SMTP server	SMTP server に接続するために認証が必要かどうかを設定します。
ID	SMTP server に接続するために認証が必要な場合、ID を設定します。
Password	SMTP server に接続するために認証が必要な場合、Password を設定します。
SSL	SMTP server に接続時、SSL を使う場合に設定します。
Destination Address	E-mail の送信先を設定します。
Video Clip Attaching	E-mail に添付して送信する映像データを設定します。
Number of Frame	Video Clip で JPEG Capture を選択した場合、送信する画像のフレーム数を設定します。
E-mail Test	E-mail の送信テストを行います。

7.7.5.　FTP Upload

FTP Upload

Server Address

Port 21 (21, 1025~65535)

ID

Password

FTP Filename

FTP Base Directory

Upload Video ◉ Primary Video ○ Secondary Video ○ JPEG Capture

Number of Frame 1 (1 ~ 10)

Continuous Upload ◉ Off ○ On

Upload Duration 10 sec (Max 300)

Upload Interval 300 sec (Max 3600)

FTP Test

Before testing FTP, please apply your configuration first.

表示	説明
Server Address	FTP server のアドレスを設定します。
Port	FTP で使用する Port 番号を設定します。
ID	FTP server へ接続するためのIDを設定します。
Password	FTP server へ接続するための Password を設定します。
FTP Filename	FTP server へ Upload するファイルのファイル名を設定します。
FTP Base Directory	STP server のファイルを保存する Directory を設定します。
Upload Video	Upload するデータの種類を設定します。
Number of Frame	JPEG Capture を選択した場合のフレーム数を設定します。
Continuous Upload	連続して映像データを FTP server へ Upload するかどうかを設定します。
Upload Duration	映像データを FTP server へ Upload する時間を設定します。
Upload Interval	映像データを FTP server へ Upload する間隔を設定します。
FTP Test	FTP server への接続試験を行います。

7.8. Event [デコーダモードの場合]

センサーなどで異常を検知した場合の通知方法の設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Event"タブをクリックします。

➢ **Event メニュー**

表示	説明
Local	センサーで異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Remote	センサーで異常を検知した場合の通知方法を設定します。
On Disconnect	Link が切れた場合の通知方法を設定します。
Duration	アラーム通知の時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
Apply	設定を適用します。

7.8.1.　Local

表示	説明
Sensor 1	センサー1で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 2	センサー2で異常を検知した場合の通知方法を設定します。

7.8.2.　Remote

表示	説明
Sensor 1	センサー1 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 2	センサー2 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 3	センサー3 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
Sensor 4	センサー4 で異常を検知した場合の通知方法を設定します。
On Video Loss	Video Loss が発生した場合の通知方法を設定します。
On motion	モーションディテクション機能で異常を検知した場合の通知方法を設定します。

7.8.3.　On Disconnect

On Disconnect

On Disconnect ☐Beep ☐Alarm1 ☐Alarm2

表示	説明
On Disconnect	エンコーダ側との接続が切れた場合の通知方法を設定します。

7.8.4.　Duration

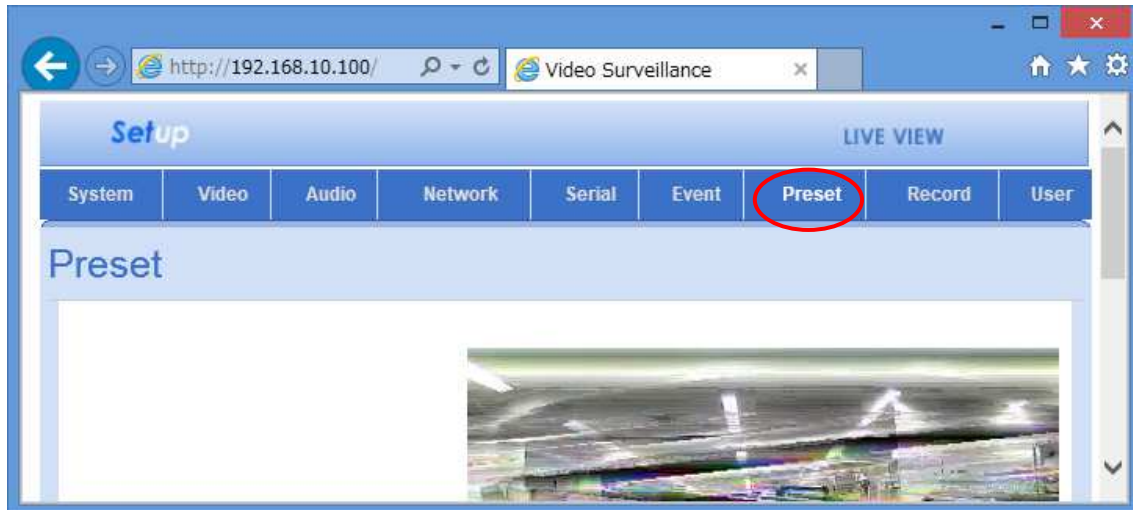
Duration

Beep: synchronous
Alarm1: 1sec
Alarm2: 1sec

表示	説明
Beep	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
Alarm 1	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。
Alarm 2	アラーム通知時間を設定します。センサーに連動、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、連続のいずれかを選択します。

7.9. Preset

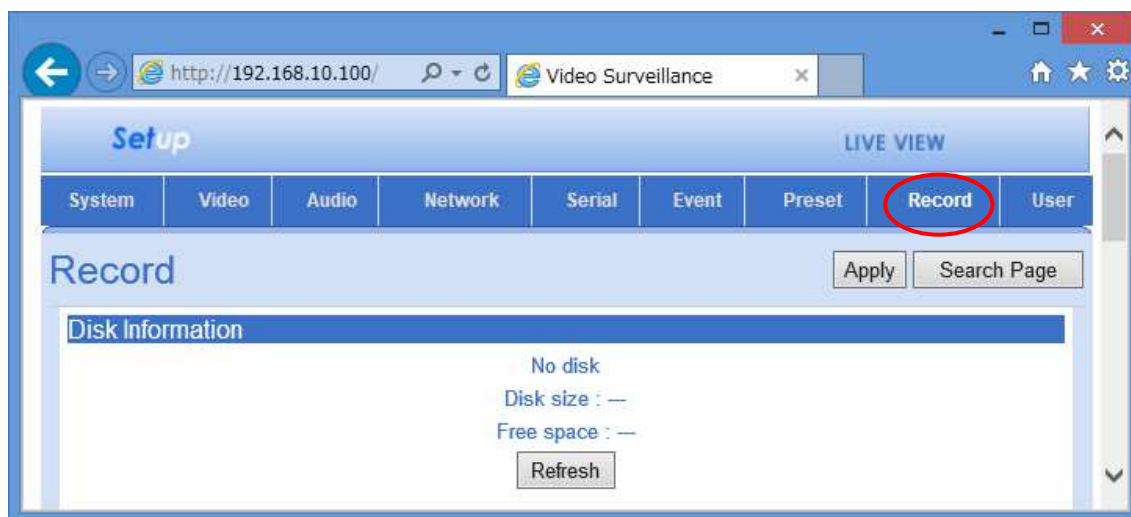
カメラの位置の設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Preset"タブをクリックします。

➢ **Preset メニュー**

表示	説明
Select Preset	Preset の番号を選択します。(Preset-1～Preser-128)
Select Preset First	Preset の番号ごとにカメラの撮影箇所に合わせて名称を付けます。
Save List	Preset list のデータを保存します。
	PTZ を使ってカメラの撮影箇所を変更します。
Set	Preset 番号に合った撮影箇所を設定します。
Go to	Select Preset で設定した撮影箇所を選んで Go to ボタンを押すと選んだ撮影箇所を映すことができます。

7.10. Record [エンコーダモードの場合]

映像データを録画するための設定を行います。

SETUP メニュー画面から"Record"タブをクリックします。

➢ **Record メニュー**

表示	説明
Disk Information	USB ポートに接続したメモリの情報を表示します。
General	映像データの録画方法を設定します。
Event Type	録画開始のトリガーとなるイベントタイプを示します。
Schedule Table	録画するスケジュールを示します。

7.10.1. Disk Information

Disk Information

No disk

Disk size : ---

Free space : ---

Refresh

表示	説明
Disk Size	本機の USB ポートに接続されたメモリの容量を表示します。
Free Space	本機の USB ポートに接続されたメモリの空き容量を表示します。
Refresh	本機の USB ポートに接続されたメモリの状態のリフレッシュを行います。

7.10.2. General

表示	説明
Use Record	映像を録画するかどうかを設定します。
Select Video	録画する映像を選択します。
Max File Size	録画する映像のファイルサイズを設定します。（10M bytes～200M bytes）
Max File Length	録画する時間を設定します。

7.10.3. Event Type

Event Type

Event Type 1 ☐ Sensor1 ☐ Sensor2 ☐ Motion ☐ Video Loss
Event Type 2 ☐ Sensor1 ☐ Sensor2 ☐ Motion ☐ Video Loss
Event Type 3 ☐ Sensor1 ☐ Sensor2 ☐ Motion ☐ Video Loss
Event Type 4 ☐ Sensor1 ☐ Sensor2 ☐ Motion ☐ Video Loss
Pre-event Time None
Post-event Time None

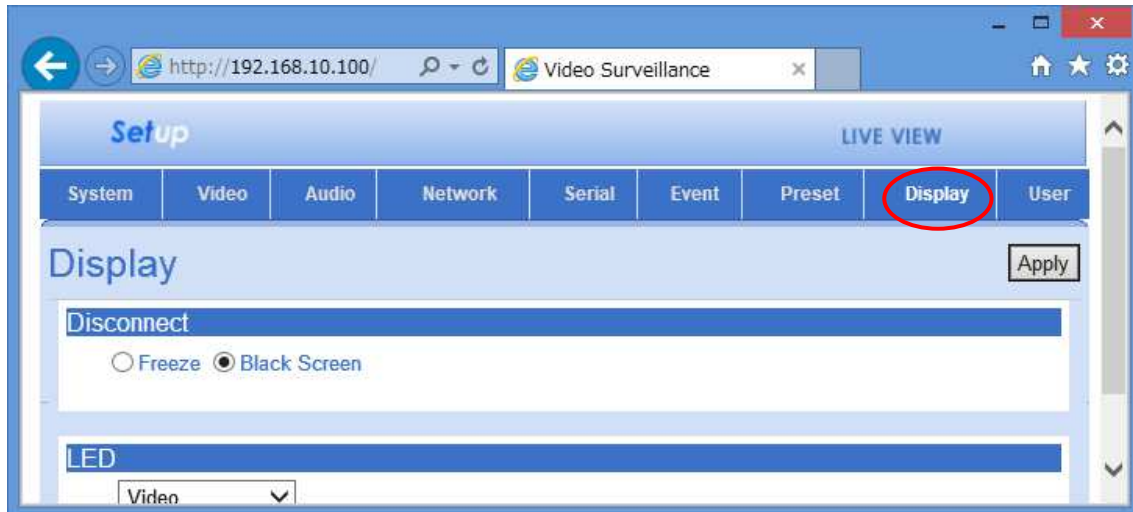
表示	説明
Event Type 1	録画開始のトリガーとなるイベントを設定します。
Event Type 2	録画開始のトリガーとなるイベントを設定します。
Event Type 3	録画開始のトリガーとなるイベントを設定します。
Event Type 4	録画開始のトリガーとなるイベントを設定します。
Pre-event Time	異常が起こる前に録画する時間を設定します。
Post-event Time	異常が起こった後に録画する時間を設定します。

7.10.4. Schedule Table

表示	説明
Select	映像を録画する時間或いは映像の録画を開始するトリガーを選択します。

7.11. Display [デコーダモードの場合]

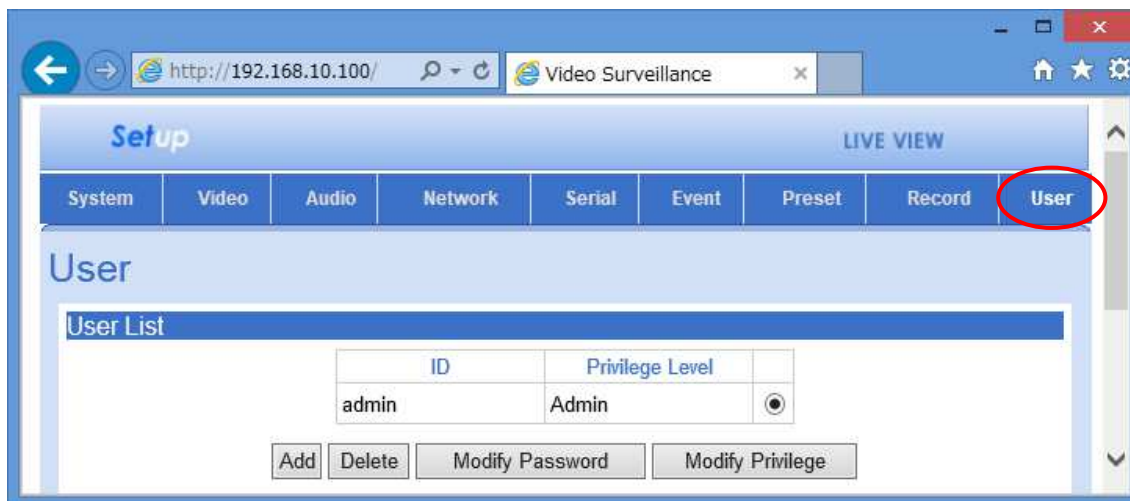
Link が切れた場合のモニター表示および DATA の LED に割り当てるデータの種類の.設定を行います。

SETUP メニュー画面から”Display”タブをクリックします。

➢ **Display メニュー**

表示	説明
Disconnect	対向する機器との間の接続が切れた場合のモニター表示について設定します。
LED	DATA の LED に割り当てるデータの種類を設定します。(Video, Audio, Serial)
Apply	設定を適用します。

7.12. User

本機にアクセスするユーザのアクセス制限を設定します。

SETUP メニュー画面から"User"タブをクリックします。

➢ **User メニュー**

表示	説明
User List	本機にログインできるユーザを表示します。
Login Policy	本機のログインするポリシーの設定です。

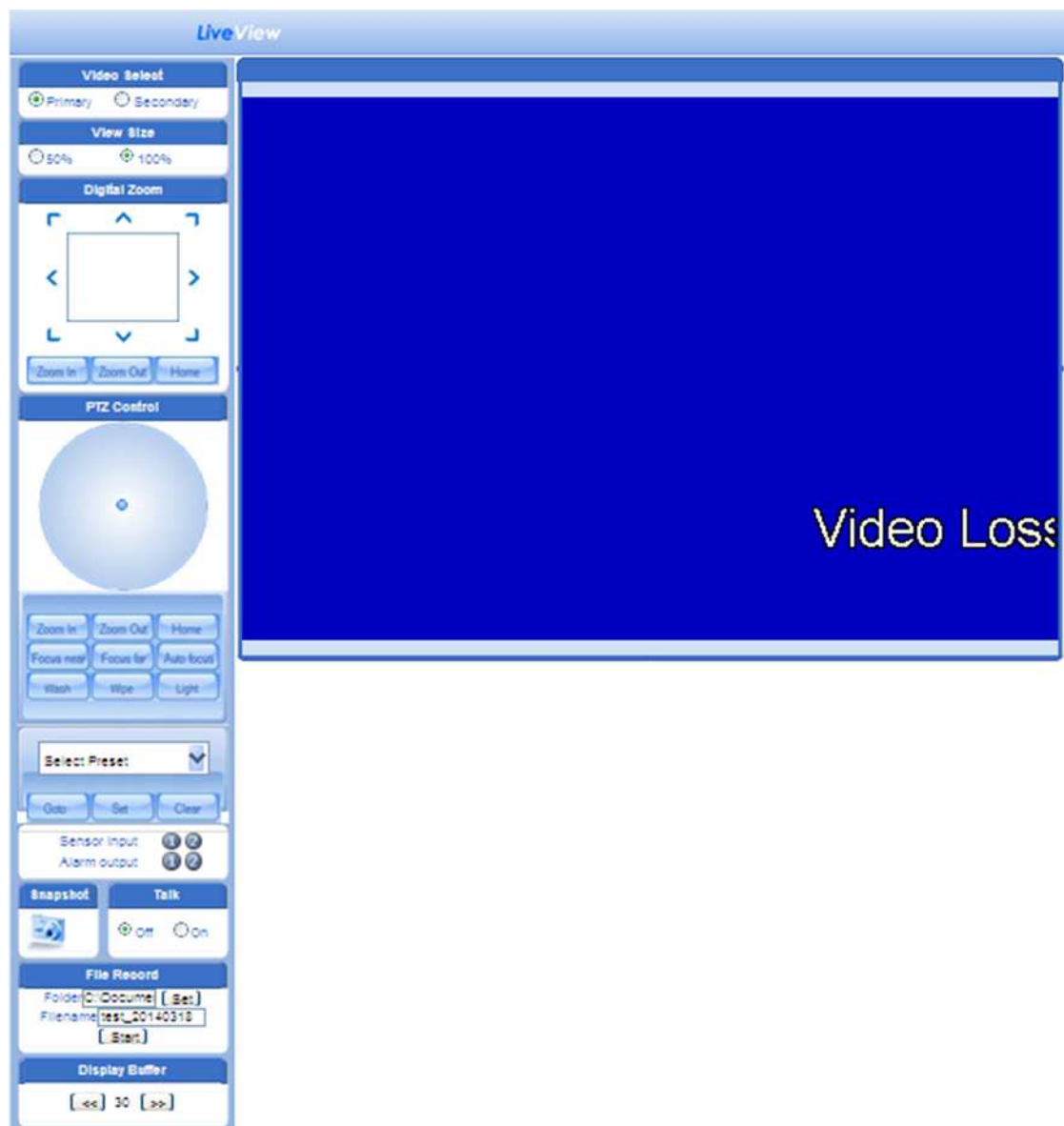
7.12.1. User List

表示	説明
ID	本機にログイン可能なユーザのIDを表示します。
Privilege Level	本機にログイン可能なユーザの特権レベルを表示します。
Add	本機にログイン可能なユーザを追加します。
Delete	本機にログイン可能なユーザを削除します。
Modify Password	本機にログイン可能なユーザのパスワードを変更します。
Modify Privilege	本器にログイン可能なユーザの特権モードを変更します。

7.12.2. Login Policy

表示	説明
Skip Login	本機にログインする場合、IDおよびパスワードを要求しない設定を行います。
Privilege Level After Login Skipped	どの特権モードに対して、IDおよびパスワードを要求しないかを設定します。
Apply	設定を適用します。

8. Live View メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。

表示	説明
Video Select	デュアルモードでの映像を選択します。(Primary or Secondary)
View Size	画面サイズを選択します。(50% or 100%)
Digital Zoom	ズームの制御を行います。(Zoom In, Zoom Out, Home) Zoom in : 拡大します。 Zoom out : 縮小します。 Home : ホームポジションに戻します。
PTZ Control	Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。 Zoom in : 拡大します。 Zoom out : 縮小します。 Home : ホームポジションに戻します。 Focus near : 近くに物体に焦点を合わせます。 Focus far : 遠くの物体に焦点を合わせます。 Auto focus : 自動的に焦点を合わせます。
Select Present	Preset で設定した箇所を選択します。 Goto : 選択した箇所へカメラを移動します。 Set : カメラの位置を設定します。 Clear : 設定したカメラの位置を解除します。
Sensor input	センサーが ON になると作動します。
Alarm output	機器に接続されたセンサーを作動させることができます。
Snapshot	映像を BMP file 或いは JPEG file で保存できます。
Talk	PC(パソコン)のマイクの音を本機に接続された機器に伝送するかいなかを設定します。
File Record	映像を avi file として保存できます。
Display Buffer	映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。(1〜30)

9. 製品仕様

製品名		CTNV-101
圧縮方式		H.264、MJPEG(Dual Encode モード時のみ)
解像度	NTSC	720x480, 720x240, 352x480, 352x240
	PAL	720x576, 720x288, 352x576, 352x288
最大フレームレート		30fps(NTSC)、25fps(PAL)
ビデオ	入力	コンポジット(75ΩBNC コネクタ) x1
	出力	コンポジット(75ΩBNC コネクタ) x1
	データレート	32Kbps～10240Kbps
オーディオ	スタンダード	AAC/G.711μ
	入力	Line-In x1
	出力	Line-Out x1
	データレート	64kbps、128kbps/64kbps
ネットワーク		10/100BASE-TX ・10/100BASE-TX Full/Half duplex Auto detection ・Auto MDI/MDI-X ・IEEE 802.3af Power Over Ethernet PD
寸法		(W)130 x(H)34 x(D)124.5 mm(突起部含まず)
重量		520g(本体のみ)
電源	DC Jack	12V(1A)
	PoE	802.3af PoE 入力
消費電力		10W (最大)
動作温度		-10～+50℃
動作湿度		30～80%RH(結露なきこと)
保存温度		-10～+50℃
保存湿度		30～80%RH(結露なきこと)
認定		VCCI Class A
製品保証期間		1 年間

10.　困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ−45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニター等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

11. 製品保証

◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間：
ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：
《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社
カスタマサポート
TEL　0570-060030
E-mail　support@hytec.co.jp
受付時間　平日 9:00～17:00